**（抄録ひな型）**

慶東国麦州における肝蛭症連続発生事案に関する現地調査について**（改行）**

中嶋陽子1、大木鈴1、田中楽俊2,3、〇丸山治彦3,4**（改行）**

1公立麦州病院・総合診療科、2金波大・感染症内科、3宮崎大・CADIC、4宮崎大・医・寄生虫**（改行）**

**（1行あける）**

　肝蛭は、ウシ、ヒツジ、シカなどに寄生する大型の吸虫で、ヒトへの感染もときに報告される。国内の人体感染例では成虫まで発育することは少なく、主な病変は肝実質内を移動する幼虫による好酸球性膿瘍である。通常、末梢血好酸球の著増と肝異常陰影によって疑われ、抗肝蛭抗体の確認によって診断される。わが国では山間部の高齢者に多い。

　宮崎大学医学部寄生虫学において実施している寄生虫症抗体検査では、肝蛭症は・・・